

令和2年6月11日

会員各位

理振協会では実施している理科教育設備整備に関する
充足調査への協力について(お願い)

事務局長 塚越 博

入梅の候、先生方におかれましては未曾有のコロナ禍の中ご苦勞はいかほどかと拝察致します。

本来であれば、今年度は熊本で全国理科教育大会を開催する予定でしたが、来年8月に実施し、今年度は2020誌上研究発表大会を開催いたします。

従来全国大会では、総会に先立ち日本理科教育振興協会の石崎常務理事より、理科教育に欠かせない観察・実験に必要な機器の整備・充実に関するお話を頂いておりました。

理科教育において、生徒たちの「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、観察・実験が重要な役割を果たしていることは論を俟ちません。これらの観察実験機器の整備には国庫補助金があてがわれています。この国庫補助金をより有効に使うために、現在の教育現場には、どのような機器があるかを調べ、どのような機器が必要であるかを調査した上で、より効果的に整備をする必要があります。理振協会は、観察実験機器の整備においても教育現場に大きな力を与えてくれます。個人的な経験になりますが、化学を担当していた頃、生徒実験で理振のシールが貼ってあった機器を使用したことを思い出します。

理科教育における観察実験機器を充実させるためにも、実際にそれぞれの学校にあるものを調査する必要があります。先生方もぜひこの充足調査にご協力をお願いします。

調査用紙は各都道府県支部の事務局にメールでお送りいたします。また、日本理化学協会のホームページにも載せておきます。観察実験機器の整備のため先生方のご協力をお願い致します。

以上

令和2年6月10日

日本理化学協会 様

令和2年度全国高等学校の理科教育設備整備に関する充足調査について

平素は全国公益社団法人日本理科教育振興協会の活動に格別のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成23年から毎年継続して理科教育設備整備に関する充足調査を実施させていただいており、毎年調査にご協力いただき、誠に感謝申し上げます。

毎年、調査の結果を、別紙の様に、パンフレットにまとめ、夏季に次年度理科教育設備整備事業予算の増額計上を目指すべく、各都道府県・自治体教育委員会にDMを実施しています。また、文部科学省には、学校現場の理科教育環境の現状について調査結果を提示して、まだまだ十分な理科教育環境には大きく不足している事を訴求しております。国庫補助金予算増額計上を目指しております。

令和2年度以降も、理科教育設備の整備充実のため、学校現場における理科教育設備の現状、実態を更に詳細に把握し基礎データの構築をたく、充足調査を実施することにいたしたく、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和2年度高等学校の理科観察・実験機器充足調査実施予定

- ・実施日 令和2年6月中旬～7月20日
※日本理化学協会様の調査スケジュールと同じ
- ・調査内容 該当年度国庫予算、単独予算、消耗品費、消耗費過不足、廃棄について
安心安全への配慮、理科室の不足感、次年度予算要求について
現状で困窮している事項
個別観察実験機器保有数、該当年度整備品目
次年度以降整備希望品目
- ・回答方法 日本理化学協会HPからダウンロードにより、FAXもしくは、mail
メール：seibi@japse.or.jp 又は、[FAX：03-3294-0716](tel:03-3294-0716)

毎年、回答校数が減っています。参考)平成24年度328校→令和元年度150校
以前、回答いただいた場合も、その後、国庫補助が当たらなくても、県費で整備された設備もあるかとおもいますので、是非、回答をお寄せください。何も整備されていなくて以前と同じ回答でも結構ですのでお寄せください。

※ 学校名を伏せて回答いただいておりますのでこちらでは、以前回答いただいたか、どうかはわかりません。

(公社)日本理科教育振興協会 調査委員会
〒100-0052 千代田区神田小川町3-28 昇龍館ビル4F
TEL：03-3294-0715 E-mail：info@japse.or.jp